

うるくの
コネタ

ローカルコネタ、
歴史ネタなどを紹介

高良に市場があったってよ〜! (高良市場)

高良大通りから続く高良市場通りには、戦後『高良市場』があったそうです。

【高良市場になるきっかけ】

戦後3、4年経った頃、配給所(現・JA高良支店さんあたり)があった名残りと人口が拡大したことで、マチヤ小が数店出来、その道沿いに、採りたての野菜やイモなどを売る夕市(ユサンディマチグワー)が出現するようになりました。やがて近隣農家・遠くは我那覇、名嘉地あたりからも農作物や豆腐を売りに集まってくるようになり、その後、近くに市場が出来、高良の商業地域形成の発端となりました。日常生活の生活雑貨はほとんど間に合わせられるほどの賑やかな市場になったそうです。(参考資料:『大嶺の今昔』)

戦後の高良市場風景



同アングル



画像提供:高良広輝さん
(高良字誌より)

宇栄原方面からの市場通り:昭和30年(1955)頃

【市場通りと大通りは大変な賑わいだった】



画像提供:高良広輝さん
(具志字誌より)



同アングル

農作物は地元や豊見城方面から持ち込まれ、魚介類は宇大嶺の漁民たちが獲ってきた物が売られていたそう。高良市場全盛の昭和30年前後(1955年前後)には高良市場に隣接し診療所や料亭、小料理屋、食堂、薬局、公衆浴場などが立地し、南側には露天劇場や小祿村役場(現那覇市小祿公民館敷地)、さらに当時の子どもたちに人気のアイスクリーム製造所が2軒もあったそうです。高良市場通りを挟んで商店が立ち並び、朝夕は大変な賑わいでした。高良市場通りとともに高良大通りも商店街化し、豊見城村や兼城村(現糸満市)からも買い物客が訪れ、露天劇場や小祿劇場、小祿銀映などの娯楽施設も連日大入り満員だったそうです。商店街に映画館が3軒もあったということは当時のうるくの中心的繁華街だったのではないのでしょうか。

しかし、昭和30年代後半頃には道路交通網の発達により郊外で買い物をする人が増えたり、宇大嶺や鏡水など他字の人たちが新部落を建設するなどし、次々に高良地域から移転したことなどから次第に高良市場は衰退していったそうです。(参考資料:『高良の字誌』)

【今も残る『高良市場前』バス停】

現在、市場通りに当時の面影は無く住宅が続いています。大通り沿いにある『高良市場前』バス停が唯一その名を残しています。



編集後記

『昔は鮮魚店が 沢山あったそう』

今回も素敵なお店の皆さんにご協力いただきました。お忙しい中、本当にありがとうございます!今回、鮮魚店をご紹介しますにあたり色々検索したところ、以前はうるくにも鮮魚店が数多くあったことが分かりました。時代の流れもありスーパーで買うことが

が多くなりましたが、やっぱり鮮魚店のイマイユは違う!今回取材させていただいたお店で食べた魚は本当に美味しかったです。遠出しなくても地元でこんなに美味しいイマイユが食べられるなんて♡しかも手軽に買って帰れます♪ぜひぜひ、ご利用くださいませ〜♪



うるくローカルプレスの「小祿(うるく)」は、【小祿、宇小祿、宇栄原、具志、高良、田原、金城あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS
うるくローカルプレス

WEBサイトが出来ました!

WEBサイト
誌面では伝えきれない情報が満載!
<https://uruku.daikyo-k.net>



お問合せ&窓口

✉ uruku@daikyo-k.net

各SNSからのメッセージもOK!



Facebook



twitter



instagram



youtube

うるくの情報発信局
『うるくローカルプレス』

編集部:那覇市金城5-13-5 2F
運営:大鏡建設株式会社(那覇市宇小祿912-1)

人とまの、
未来をつくる。



URUKU LOCAL PRESS

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報をお届け!

2022年3月
vol.7



無料 TAKE AWAY

イマイユあります



イマイユ
あります



さしみ、アラ汁、海鮮丼！
今回は、魚の美味しいお店をご紹介します！持ち帰って食べるもよし、お店でガッツリ食べるもよし！
やっぱり新鮮な魚は美味しいなーと感じさせてくれる2つのお店をご紹介します！

贅沢すぎるー!! 魚まるさんと言えばコレ!



贅沢全部のせ
海鮮丼 ¥1,518(税込)
汁物、漬物、小鉢、デザート付



魚まる定食 ¥1,518(税込)6種類のメインメニューと6種類の
丼メニューから好きな組合せが選べるお得な定食!
(写真は1番人気の組合せ:魚汁と魚まるまーさん丼)

お魚のテーマパークみたい!
店内にはお魚がいっぱい!

お店の隣には持ち帰り鮮魚店が併設。さしみや魚のバター焼、天ぷらなどがあります



**うるくの
ココが好き!**
お店の近所に飲
食の専門店(そ
ば等)が多く、よ
く利用させてもら
っています!

**地元の方へ
メッセージ**
地域に愛される様、
これからも頑張って
いきます!よろしくお
願いします!

店長の多和田さん

魚屋直営食堂
魚まる (小鉢本店)

新鮮で美味しい魚を
思う存分食べられる!

沖縄近海でとれた新鮮な魚がお得に食べられる魚食
堂。定食、丼…と豊富なメニューでイマイユを思う存分
味わえます。おすすめは『海鮮丼』。
新鮮で色鮮やかなさしみが溢ればかりに盛り付けら
れていて贅沢すぎるー!!とにかく一度は食べてほし
いメニューです!また『魚まる定食』は、なんと6種類のメ
インメニュー(魚汁や魚ソテー、魚フライ等)と6種類の
丼メニュー(県産マグロ丼や海鮮ぶっかけ丼等)から好
きな組合せが選べるので、毎回違う組合せが楽しめる
と人気。美味しくボリュームもたっぷりです!
お店隣には持ち帰り鮮魚店があり、さしみやアラ汁な
ど豊富なメニューがズラリ。夕食やおつまみの一品にも
助かりますね。「他ではない良いものを出来るだけお安
く提供したいと思っています」と店長の多和田さん。そ
の心意気がお料理に表れています。
「美味しい魚を思う存分食べたい!」そんな時にぜひお
すすめです◎釣った魚(釣ったて)の買い取りもしてい
るそうですよー。

魚屋直営食堂
魚まる (小鉢本店)
☎ 098-987-0889
📍 那覇市高良3-5-1
🕒 11:00-21:00
(料理・ドリンク L.O. 21:00)
📅 年中無休(不定期で休みあり)
🚗 あり

🌐 uomaru.ti-da.net/ 📱 sakanayoumaru @uomaru.naha



この鮮度とボリュームで¥500!



さしみ一皿 ¥500(税込) ※写真はマグロと黒皮カジキ



アラ汁1杯 ¥200(税込)
煮魚 ¥300(税込) ※日によって変わります



店舗前におススメ!を
チェックしてね!
ショーケースからお好きな魚が選べます。
(一尾ものもあり)

事前に電話注文がオススメ!
駐車場が無いので夕方はお店前道路が混雑します。事前に電話で
注文(受取希望時間など)いただくとスムーズにお渡しができますよ!

うるくのココが好き!
那覇っぽくないところ。
部落ごとに行事がある
ところが良い!

**地元の方へ
メッセージ**
ぜひお気軽にご利用
ください!よろしく
お願いします!

店主の安室さん親子

安室鮮魚店

宇栄原で40年以上!
親子で切盛りするさしみ屋

五月橋バス停そばにある新鮮なおさしみが並ぶ鮮魚
店。可愛らしい水色の建物が目印です。老朽化により取
り壊された『田原市営住宅』併設の公設市場内でお母
様が40年以上営業していたそうで、その後2020年11
月に息子さんがこの場所で再度お店を開いたそう。
おすすめは『さしみ』。一皿¥500と¥1,000があり、好
きな魚を盛り付けてくれます。長年お店を切り盛りして
きたお母様が同行し、泊いゆまから毎日仕入れるイマ
ユを鮮度が落ちないよう注文後にさしみにしてくれま
す。さしみの他、一尾もの、アラ汁や煮魚、天ぷら(日
によって)などもあります。また、予め電話で注文すれば受
取時間に合わせて用意してくれるそうです。そしてお二
人のほっこりする人柄に、買い物についてについてい
ンクたくしてしまいます…♪
スーパーでは味わえないイマイユと、最近では希少な
さしみ屋さんの雰囲気、ぜひ足を運んで味わってみて
ください。

安室鮮魚店
☎ 098-858-7401
📍 那覇市宇栄原2丁目9-2
🕒 10:00-20:00
📅 日曜
🚗 なし



ぶらっとおろく

何気ない、気になる、懐かしいうるくの街角歩き



戦後の面影を残すレトロな飲み屋街「小禄新町」界限

宇栄原3丁目界限にある小禄新町は、国道231号線(那覇空
港線)から入り、住宅が並ぶ路地を進んで行くとふっと現
れる昭和レトロな飲み屋街。戦後間もなくの1951年に造成さ
れたという小禄新町(新辻町)は米軍人向けの社交街とし
て、当初は60軒ほどの店があり、大変賑わったそうです。
小禄新町は主に白人相手のお店が中心で、黒人相手のお
店は山下町(ペリー区)と、当時は棲み分けされていたとい
います。
最近はいよいよ空き地も目立つ様になりましたが、長屋のよ
うに連なる飲食店はまだまだ健在。若者向けの居酒屋も点在
しています。周辺には古民家や古い建物も数多く残って
おり、新しい街並みも多いうるくでは希少な地域かもしれませ
ん。戦後の面影を残す貴重なうるくの風景の一つとしてこれ
からも残していってほしいと思います。



那覇市宇栄原3丁目付近

今も残るレトロな飲み屋街(通称"年金通り")



宇栄原の路地に残るかつての社交街。
周辺には古民家や古い建物も数多く残る、戦後の面影を残す希少なエリア

